

レオビルド[®] SP8SE/8RE

標準形 (I種) 遅延形 (I種)

RHEOBUILD[®] SP8SE/8RE

ポリカルボン酸エーテル系 高性能 AE 減水剤

レオビルドSP8SEおよびレオビルドSP8REは、ともに JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」の規格に適合する良質な高性能 AE 減水剤で、レオビルドSP8SEは標準形 (I種)、SP8REが遅延形 (I種) の混和剤です。

これらの高性能 AE 減水剤は、普通コンクリートから高強度コンクリートまで幅広く使用でき、施工性に優れたコンクリートを安定して製造・供給することができます。

特長

1. スランブロスを大幅に低減できます。
2. 粘性の低い施工性に優れたコンクリートを製造できます。
3. 高い分散性があるため、従来の AE 減水剤よりさらに単位水量および単位セメント量を減少できます。
4. プリーディングの低減などフレッシュ時の品質改善をはじめ、水和熱の低減、硬化後の水密性や耐凍害性等を改善します。

主成分および物性

種類	主成分	外観	密度 (g/cm ³ , 20°C)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
レオビルドSP8SE	ポリカルボン酸エーテル系化合物と 分子内架橋ポリマーの複合体	赤褐色液体	1.01~1.08	1.1	0.01
レオビルドSP8RE		赤褐色液体	1.03~1.10	1.3	0.01

*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

用途

レディーミクストコンクリート、単位水量を低減する必要がある耐久性に優れたコンクリートなど、一般の土木・建築用コンクリートから高強度コンクリートまで幅広くご使用いただけます。

使用量と使用方法

1. レオビルドSP8SEおよびレオビルドSP8REの標準的な使用量は、セメントなどの結合材の質量に対して 1.0 %ですが、使用材料、ミキサの種類、コンクリート温度等によって変動しますので、0.5~3.0%の範囲で目標の減水率が得られるように試し練りによって使用量を決定してください。
2. 各剤は単位水量の一部となりますので、使用量に応じて単位水量を補正してご使用ください。

空気量の調整方法

レオビルドSP8SEおよびレオビルドSP8REには、いずれも空気連行性の異なる A のついたタイプ (A₁、A₂~A_n) があります。「n」の値が 1 つ増すごとに空気量は 0.3~1.0% 程度順次多く連行するように調整されていますので、所要の空気量が得られるように試し練りによって適切な A タイプを決定してください。なお、基本タイプでも空気量が過大となる場合には、低空気連行タイプ (X₁~X₄) があります。

また、良質な AE 剤の適当量をレオビルドSP8SEまたはレオビルドSP8REとは別途に計量して空気量を調整する方法もありますので、当社セールスマンにご相談ください。

性能

JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」による性能評価例

試験項目	レオビルドSP8SE			レオビルドSP8RE			
	高性能AE減水剤 標準形規定値	試験値	評価	高性能AE減水剤 遅延形規定値	試験値	評価	
減水率 (%)	18以上	18	適合	18以上	18	適合	
ブリーディング量の比 (%)	60以下	30	適合	70以下	30	適合	
凝結時間の差 (min)	始発	-60~+90	+35	適合	+60~+210	+100	適合
	終結	-60~+90	+35	適合	0~+210	+105	適合
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	125以上	154	適合	125以上	154	適合
	材齢28日	115以上	132	適合	115以上	138	適合
長さ変化比 (%)	110以下	97	適合	110以下	99	適合	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	98	適合	60以上	98	適合	
経時変化量	スランブ(cm)	6.0以下	1.5	適合	6.0以下	2.0	適合
	空気量 (%)	±1.5以内	+0.4	適合	±1.5以内	±0.0	適合

使用材料/セメント：普通ポルトランドセメント3種混合
粗骨材：青梅産硬質砂岩砕石（表乾密度：2.65g/cm³、MS：20mm）
細骨材：大井川水系砂砂（表乾密度：2.60g/cm³、FM：2.67）
混和剤：レオビルドSP8SE（C×1.0%）、レオビルドSP8RE（C×1.0%）

使用および取扱上の注意事項

1. 本剤を推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試し練りで性状を確認するか、当社セールスマンに別途ご相談ください。
2. 本品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように（凍結温度：-2.5℃）保管してください。
3. 凍結した場合には、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
4. 取扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
5. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
7. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、専門医の診察を受けてください。
8. 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
9. 使用および取扱いの前に、当社の製品安全データシート（MSDS）をお読みください。

荷姿

21 kgポリ内装箱、210 kgドラム缶、バルク

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポズリス株式会社

本社 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階
混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(松本営業所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolite.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。
●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。
●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。
●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

